**小若宮一**　１軀

【調査日】　２０１９年9月29日

【調査者】　伊東史朗（和歌山県立博物館館長）　有木芳隆（和歌山県立博物館館長）

　　　　　　中西真美子（崇城大学）　　　　　　萬納恵介（熊本県立美術館）

【指定】　　大分県指定文化財

【形状】　　頭上に髻（たぶさ）を結い、頭髪を正中で左右に分け、両肩から背へ垂らす。目鼻は単純な刻線で

　　　　　　あらわす。盤領の大袖衣を着す。両手拱（こまぬく）手し、足を組んで座す。持物の痕跡はない。

【材質・技法】　木造（ヒノキ）　彫眼　彩色

【品質構造】　本心を後方に外す一材製。彫眼。

　　　　　　　表面に白色が残存する。

【法量】　※単位㎝　　本体

　　　　　総高（含台座）２０．９　　像高１７．７　　髪際高１４．６　　頭頂一顎６．５

　　　　　髪際一顎３．７　　面張３．８　　面奥（現状）５．８　頭髪張５．８　　肩張９．８

　　　　　胸奥（中央）６．０　　臂（ひじ）張１０．９　　手先奥８．１　　膝張（現状）１１．１

　　　　　膝奥９．０　　地付幅１１．１　　地付奥１０．２

【制作時期】**平安時代後期～鎌倉時代（１２～１３世紀）**

【保存状態】　　左袖や正面地付きなど朽損。

【備考】　　『神像彫刻重要資料集成』第四巻では、名称を「①女神像」とする。